

# うどんこ病<sup>びょう</sup>

病原菌名 *Sphaerotheca aphana* var. *aphana*

## 発生条件

発病適温は20℃前後。草勢の衰え、日照不足により発病が助長される。夏の高温時は病原菌の活動が抑えられ、9月以降、気温の低下とともに発生が増加する。



## 発病株

うどんこ状の白色～灰白色のかびを生じる。はじめ葉裏に発生しやすく、発生が多くなると葉表やつぼみ、葉柄、果実にもかびを生じる。つぼみに発生すると花弁は紫紅色に変わる。小葉は激発すると曲がって舟形となる。



## 果実の発病

果実に発病すると、肥大や着色が悪くなり、商品価値がなくなる。